

## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年2月13日

上場会社名 株式会社アイフリークモバイル 上場取引所 東  
 コード番号 3845 URL <https://www.i-freek.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 邦臣  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 三宅 公崇 TEL 03-6274-8901  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第3四半期の業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	1,423	△1.8	11	—	13	—	17	—
2025年3月期第3四半期	1,449	—	△19	—	△10	—	△38	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	0.78	0.78
2025年3月期第3四半期	△2.16	—

(注) 2025年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2026年3月期第3四半期	1,406		946		67.0	
2025年3月期	1,392		859		61.4	

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 942百万円 2025年3月期 855百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2026年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2026年3月期の業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,816	△9.4	△60	—	△63	—	△63	—	△2.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                      |    |
|----------------------|----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ：無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | ：無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | ：無 |
| ④ 修正再表示              | ：無 |

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期 3Q	22,239,641株	2025年3月期	21,339,641株
② 期末自己株式数	2026年3月期 3Q	一株	2025年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期 3Q	21,766,186株	2025年3月期 3Q	17,839,641株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3 「1. 経営成績等の概況 （3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はT D n e t で同日開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(セグメント情報等の注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7
(重要な後発事象) .....	7

## 1. 経営成績等の概況

### （1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善により、緩やかな回復基調にあるものの、物価上昇の継続に伴う消費マインドの下押しや、米国の通商政策の影響等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社は、引き続き軸となるコンテンツ事業とDX事業の二つの事業活動の推進に努めてまいりました。また、より一層の貢献意欲及び士気向上と、当社との結束力をさらに高めることを目的として、当社の取締役及び従業員に対し、有償ストック・オプションの発行を行い、中長期的な企業価値向上に資する施策を実施いたしました。

この結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高は1,423,215千円（前年同四半期比1.8%減）、営業利益は11,801千円（前年同四半期は19,818千円の営業損失）、経常利益は13,436千円（前年同四半期は10,709千円の経常損失）、四半期純利益は17,009千円（前年同四半期は38,621千円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### <コンテンツ事業>

コンテンツ事業におきましては、法人顧客との取り組みに注力いたしました。具体的には、当社運営の子ども向け絵本専門YouTubeチャンネル「ポポキッズ」で人気の絵本作品をアニメーション動画にした「ライトアニメ®」を大日本印刷株式会社と共同制作し、「Netflix」での国内独占配信や、株式会社みづほフィナンシャルグループの金融経済教育絵本「ひらめきモモタロウ」の制作と寄贈のサポートを実施いたしました。また、これまで当社が蓄積してきた生成AIの活用ノウハウ及び開発実績を活かし、プランティオ株式会社と株式会社アイティフォーと協業し、リアル連動型ソーシャルAI栽培アプリ「grow β」を開発いたしました。

これらの結果、コンテンツ事業の売上高は31,522千円（前年同四半期比60.5%減）、セグメント損失は6,363千円（前年同四半期は23,493千円のセグメント損失）となりました。

#### <DX事業>

DX事業におきましては、少子高齢化による労働人口の減少や働き方の多様化等を背景に、採用市場における人材獲得競争が引き続き激化しております。このような環境下において、当社も一定の影響を受けておりますが、採用活動の強化により人材確保に努めてまいりました。また、生成AI・データサイエンス・クラウド等の専門領域に特化した人材育成および商流改善を継続的に実施いたしました。加えて、コンテンツ事業における生成AI開発業務をDX事業部門所属のエンジニアが実務として担う体制とすることで、技術力および実践的なスキルの向上を図るなど、事業間のシナジー創出に取り組んでおります。さらに、高単価案件の獲得に向けた取り組みについても、引き続き積極的に推進しております。

これらの結果、DX事業の売上高は1,391,693千円（前年同四半期比4.5%増）、セグメント利益は193,142千円（前年同四半期比27.7%増）となりました。

(注) 製品名及びサービス名は商標又は登録商標です。

### （2）当四半期の財政状態の概況

流動資産は、前事業年度末に比べて16,814千円（1.2%）増加し、1,400,552千円となりました。これは主として、売掛金が76,099千円減少する一方、現金及び預金が78,227千円、立替金が12,196千円増加したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べて2,466千円（29.2%）減少し、5,981千円となりました。これは主として、投資その他の資産が2,552千円減少したことによるものであります。

以上の結果、資産合計は、前事業年度末に比べて14,347千円（1.0%）増加し、1,406,533千円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べて21,528千円（6.8%）減少し、293,521千円となりました。これは主として、預り金が7,921千円増加する一方で、未払消費税等が10,866千円、未払法人税等が7,565千円減少したことによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べて50,870千円（23.4%）減少し、166,481千円となりました。これは主として、長期借入金が49,072千円減少したことによるものであります。

以上の結果、負債合計は、前事業年度末に比べて72,399千円（13.6%）減少し、460,002千円となりました。

純資産は、前事業年度末に比べて86,747千円（10.1%）増加し、946,530千円となりました。これは主として、資本金が99,677千円減少した一方、資本剰余金が169,823千円増加したことによるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月15日に公表しました通期の業績予想につきましては、現在のところ数値に変更はありません。今後、変更が生じる場合は、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,003,616	1,081,843
売掛金	339,751	263,651
仕掛品	404	2,406
未収入金	10,716	3,691
前払費用	16,855	20,317
短期貸付金	7,860	7,860
立替金	7,263	19,460
その他	7,109	11,160
貸倒引当金	△9,841	△9,841
流動資産合計	1,383,737	1,400,552
固定資産		
有形固定資産	—	85
投資その他の資産	8,448	5,895
固定資産合計	8,448	5,981
<b>資産合計</b>	<b>1,392,185</b>	<b>1,406,533</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	18,187	16,736
1年内返済予定の長期借入金	73,608	73,608
未払金	21,021	16,432
未払費用	124,206	118,938
未払配当金	1,183	627
未払法人税等	7,962	397
未払消費税等	25,197	14,330
未払事業所税	2,012	2,469
前受収益	5,027	3,606
預り金	36,645	44,566
資産除去債務	—	1,808
流動負債合計	315,050	293,521
固定負債		
長期借入金	214,116	165,044
資産除去債務	3,235	1,437
固定負債合計	217,351	166,481
<b>負債合計</b>	<b>532,402</b>	<b>460,002</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	144,750	45,073
資本剰余金	588,673	758,496
利益剰余金	121,892	138,901
株主資本合計	855,315	942,470
新株予約権	4,468	4,060
<b>純資産合計</b>	<b>859,783</b>	<b>946,530</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>1,392,185</b>	<b>1,406,533</b>

## (2) 四半期損益計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	1,449,339	1,423,215
売上原価	1,073,500	1,070,369
売上総利益	375,838	352,846
販売費及び一般管理費	395,657	341,045
営業利益又は営業損失(△)	△19,818	11,801
営業外収益		
受取利息	1,512	933
受取補償金	—	2,678
助成金収入	2,743	1,700
貸倒引当金戻入額	5,895	—
その他	1,012	1,132
営業外収益合計	11,164	6,445
営業外費用		
支払利息	2,049	2,360
雑損失	—	1,948
その他	5	501
営業外費用合計	2,054	4,810
経常利益又は経常損失(△)	△10,709	13,436
特別利益		
貸倒引当金戻入額	43,126	—
受取遅延損害金	28,033	—
抱合せ株式消滅差益	41,516	—
ソフトウェア売却益	—	6,000
特別利益合計	112,675	6,000
特別損失		
抱合せ株式消滅差損	114,899	—
関係会社株式評価損	20,000	—
事務所移転費用	2,196	2,029
特別損失合計	137,095	2,029
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△35,129	17,406
法人税、住民税及び事業税	3,492	397
法人税等合計	3,492	397
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△38,621	17,009

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	その他(注) 1	調整額(注) 2	四半期財務諸表 計上額(注) 3
	コンテンツ事業	D X事業				
売上高 顧客との契約から生じる収益	79,721	1,331,946	1,411,668	37,671	—	1,449,339
外部顧客への売上高 セグメント間の内部 売上高又は振替高	79,721	1,331,946	1,411,668	37,671	—	1,449,339
計	79,721	1,331,946	1,411,668	37,671	—	1,449,339
セグメント利益又は損失(△)	△23,493	151,255	127,761	37,671	△185,251	△19,818

- (注) 1. その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、株式会社I-FREEK GAMESに対する経営指導料を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。  
全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額(注) 1	四半期財務諸表 計上額(注) 2
	コンテンツ事業	D X事業			
売上高 顧客との契約から生じる収益	31,522	1,391,693	1,423,215	—	1,423,215
外部顧客への売上高 セグメント間の内部 売上高又は振替高	31,522	1,391,693	1,423,215	—	1,423,215
計	31,522	1,391,693	1,423,215	—	1,423,215
セグメント利益又は損失(△)	△6,363	193,142	186,779	△174,977	11,801

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年6月26日開催の定時株主総会の決議に基づき、2025年7月1日付で減資の効力が発生し、資本金の額134,750千円及び資本準備金の額134,750千円をそれぞれ減少し、その他資本剰余金に振り替えております。

また、当第3四半期累計期間において、第18回新株予約権の権利行使により新株の発行を行い、資本金及び資本剰余金がそれぞれ35,073千円増加しております。

これらの結果、当第3四半期会計期間末において、資本金が45,073千円、資本剰余金が758,496千円となっております。

## (継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	4,504千円	30千円

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。